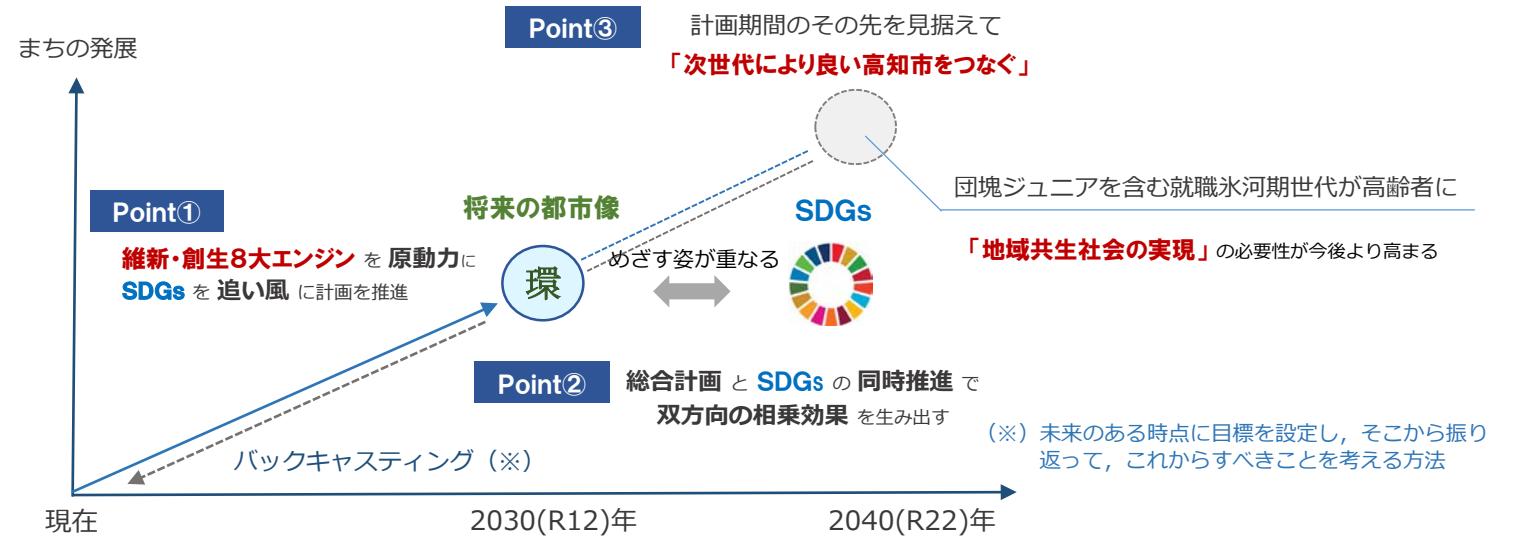


# 後期基本計画（原案）の概要

- 後期基本計画は、6つの施策の大綱ごとに縦に連なる「分野別施策」と、あらゆる分野が連携する「横断的施策(推進戦略「維新・創生高知市」)」で構成されています。
- 推進戦略では、今後10年間で優先的・重点的に取り組むべき主要課題を設定し、その解決に向けて8つの方策「維新・創生8大エンジン」に取り組みます。



## ＜後期基本計画（原案）策定にあたっての考え方 イメージ＞



### 【SDGsの取組】

- Point 1: 多様なステークホルダーとの連携機会の創出などにつなげるため、総合計画の施策とSDGsの対応表を作成
- Point 2: 事務事業の実施時には、SDGsの推進・活用について個別に検討することを基本姿勢に位置付け
- Point 3: 実施計画と本市のSDGsを一体的に進行管理

Point 1 SDGsと同様に分野横断的・統合的に取り組む8大エンジンは、後期でも「南海トラフ地震対策の強化」「地方創生の推進」の2本柱が中心

- 1 大規模災害に備え、市民の生命と財産を守り、まちの安全を高める
- 2 地産外商、観光振興により、高知の強みと地域資源を活かした産業を興す
- 3 新しい人の流れを創出し、移住・定住を促進する
- 4 すべての市民が安心して健やかに暮らすことができる環境を整える
- 5 知・徳・体の調和のとれた人材を育てる
- 6 豊かな自然環境の保全と低炭素・循環型社会を創る
- 7 土佐の風土に根ざした歴史・文化を受け継ぎ発展させる
- 8 多様な主体と連携・協働しながら共に発展し、自主自立のまちを築く

Point 3 部局横断的に取り組むエンジンだからこそ

維新・創生8大エンジンの推進にあたって

「次世代により良い高知市をつなぐ」ため、本市における地域共生社会の実現につながる、SDGsの「誰一人取り残さない」の精神と、次の3つの視点を重視。各事業実施時に反映

- 視点1 人や地域のつながりの構築
- 視点2 地域の担い手の育成
- 視点3 地域の課題解決力の向上

基本構想の実現に向け、「10年後の理想の姿」として整理

- 1 「10年後の理想の姿」の実現に向け、前期の総括と主に次の事項を踏まえて立案
  - (1) 前期の進捗状況（政策・施策評価の結果等）
  - (2) 本市を取り巻く状況と今後想定される新たな行政課題
  - (3) 市民ニーズ・市民意見
- 2 PDCAサイクルを強化 するため、成果指標の質と量を向上 113指標 → 134指標（うち49指標が新規追加）
- 3 本市の計画体系を分かりやすく示すため、施策に関する各種行政計画等を一覧表示（令和2年度中に作成）

次期実施計画の策定にあたっては、前期の総括を踏まえ、事務事業の実施から施策の目的を達成するに至るまでの論理的な因果関係を再整理し、事業内容や評価指標、目標値の見直しなどを行い、事務事業の実効性向上を図る